

日本臨床バイオメカニクス学会誌

「臨床バイオメカニクス」投稿規定

1. 日本臨床バイオメカニクス学会において発表した論文を掲載することを原則とする。
2. 投稿論文は原著論文として、未刊行のもの、あるいは他誌に発表予定のないもので、独創的な内容又は有用な内容を含まなければならない。
原著論文以外（総説、解説、シンポジウム口演録など）は、編集委員会または、学会長よりの依頼論文とする。
3. 論文の採否は、日本臨床バイオメカニクス学会編集委員会が決定する。
4. 著者は、共著者を含めすべて日本臨床バイオメカニクス学会の会員でなければならない。
5. 論文の長さは、原則として学会誌刷り上がりで7頁以内とする。これは、図表およびその説明文、英文抄録、引用文献を含めて、和文原稿では6,000字以内、英文原稿では3,000語以内に相当する。なお、1図表（説明文を含む）は、和文原稿では400字、英文原稿では200語として算定する。
6. 表紙には、論文タイトル（和文および英文）、著者・共著者名（和文および英文）、著者・共著者の所属とその住所、英文キーワード（5語以内）、そして、英文にてcorresponding author(1名)とそのaffiliation, e-mail address, telephone number, fax numberを記入する。なお、論文タイトル（英語）は最初の文字のみ大文字とし、以下はすべて小文字表記とする。また、英語キーワードの各ワードの頭文字は大文字とする。
7. 第2ページは、和文原稿の場合には400字以内の和文抄録を、英文原稿の場合には300語以内の英文抄録を付け、最終に語数を記載する。
8. 第3ページ以降は投稿原稿とし和文あるいは英文にて、読者が理解しやすいように記述したものでなければならない。
9. 通しページ番号を第1ページより各ページの下中央部、通し番号を第2ページ先頭から本文終わりまで左端に記載する。また、各ページの右上に筆頭著者の氏名を記載する。
10. 内容については、臨床バイオメカニクスに関するものであり、オリジナルかつ十分なデータが示されていることを原則とする。本文の基本的構成は緒言・研究方法（理論解析）・結果・考察・結論の順となる。新しい実験や計算法を提案する内容の論文も臨床との関連や意義が本文中に提示されているものは原著論文として投稿可能である。
11. 引用文献は、重要なもののみに限り、原則として20編以内にとどめる。文献は、筆頭著者名のアルファベット順に並べて番号をつけて本文の最後に配置し、本文中の引用箇所には上付きの番号で示す。同一筆頭著者の文献が複数ある場合には、年代の古い順に並べる。文献の記載方法を以下に示す。
 - (1) 雑誌
著者名（姓を先に）：表題、誌名 巻：最初の頁－最後の頁，年。
雑誌の省略名は原則としてIndex Medicusに従う。著者が2名以内の場合には全員の名前を記載し、3名以上の場合には2名のみを記載し、その他の著者を和文の場合は他として、また英文の場合はet al.として省略する。
例) 飯田尚裕, 小谷善久 他：加齢および椎間変形が腰椎棘上・棘間靭帯の生体力学的特性に及ぼす影響。日本臨床バイオメカニクス学会誌 20：53-56, 1999。
例) Jasty M, Bragdon CR et al. : Surface damage to cobalt-chrome femoral head prostheses. J Bone Joint Surg 76B : 73-77, 1994.

(2)単行書

著者名(姓を先に):論文表題. In:編者名(Ed.), 書名, 発行地, 発行社, 引用頁(最初の頁を記載), 発行年.

例) Maquet P: Osteotomies of the proximal femur. In: Reynolds D, Freeman M (Ed.), Osteoarthritis in the Young Adult Hip, Edinburgh, Churchill Livingstone Pub, 63-81, 1989.

例) Ganong WF: Review of Medical Physiology, 6th Ed, Tokyo, Lange Medical Pub, 18-31, 1978.

12. 図表は引用文献の後に付け、図表およびその説明文について、和文原稿は和文、英文原稿は英文とする。

13. 原稿の提出は、原則、電子メールのみとし、①原稿電子ファイル(PDFファイル又はWord, およびPower pointファイル)②投稿申込書③学会優秀論文賞応募用紙(希望者)④著作権移管同意書を送付する。ただし、電子メールで送付が出来ない場合は、投稿先の事務局まで連絡をする。

14. 定められた掲載料およびページ数が超過した場合は、超過掲載料を支払う。

15. 投稿時に添付する著作権同意書

著作権に関する同意書は下記の文章を含め、著者全員が署名する。

“The undersigned author (s) transfer (s) all copyright ownership of the article entitled [title of article] to Japanese Journal of Clinical Biomechanics in the event the work is published. The undersigned author (s) warrant (s) that the article is original, is not under consideration by another journal, and has not been previously published. We sign for and accept responsibility for releasing this material.”

投稿に際しては、その研究に関して、または類似の研究で先行報告、あるいは二重報告とみなされるような報告をすでに出している場合は、それについての詳しい申告をする。その際、本誌編集者の判断材料として、それらの論文のコピーを同封する。

16. 投稿論文は、医・工ともに理解ができる論文内容でなければならない。

17. プライバシー保護・倫理規定

ヒトおよび動物を扱う研究においては、臨床研究はヘルシンキ宣言に、動物実験は各施設の規定に、それぞれ沿ったものとする。患者氏名、イニシャル、病院でのIDなど、患者個人の特定可能な情報を記載してはならない。個人情報保護に関しては、日本外科学会のプライバシー保護ガイドライン「症例報告を含む医学論文及び学会研究発表における患者プライバシー保護に関する指針」(<http://www.jssoc.or.jp/other/info/privacy.html>)に準じる。

対象となる研究は、本文中に承認事項の記載を行う。

18. 利害衝突に関する方針: 本誌の著者および共著者は投稿論文に関連して利益相反の生じる可能性のある商業的事項(コンサルタント料, 株の所有, 特許取得など)や, 外部からの研究助成金の有無にかかわらず, 利益相反自己申請書の提出を要する。

19. 投稿先

日本臨床バイオメカニクス学会事務局

〒565-0871 吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科)教室内

TEL: 06-6879-3552 FAX: 06-6879-3559

E-mail: biomecha@ort.med.osaka-u.ac.jp